



—昭和大学歯科病院の理念—

患者本位の医療  
先進医療の推進  
良き歯科医師の育成

発行責任者 病院長 岡野 友宏  
編集責任者 広報委員長 高橋 浩二  
〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1  
TEL 03-3787-1151(代表)

ホームページ: <http://www10.showa-u.ac.jp/~denthp/index.html>

## チーム医療の見直し

美容歯科 科長 真鍋 厚史

毎年6月4日は、皆様もご存じの「歯の衛生週間」です。日本歯科医学会・歯科医師会は8020運動を活性化させるために各地で沢山の催し物を企画し開催しております。当歯科病院においても受付のテレビモニターで歯科に関連した様々なニュースやトピックスをご案内させて頂いております。これらを具体的に企画・実践し、虫歯・歯周病の予防に効果が期待できる歯の磨き方をやさしく解説する女性の存在に気がついておられることでしょうか。この女性スタッフは歯科医療にとって欠かせない「歯科衛生士」という職種ですが、ご存じでしょうか？

歯科治療を受けられる際に、さりげなく歯科医師の側において患者様の誘導や歯科医師の診療補助を行う看護師にも似た女性というイメージはありませんか？実はこの「歯科衛生士」という専門職は、日本では昭和23年から国家資格として認定されたものですが、欧米ではすでに立派な市民権を得ており、独立して開業できるほどの立場にあります。元来、歯科衛生士(今では男性も取得可能)の業務内容は非常に幅広く、妊婦と胎児の栄養指導から始まり、乳幼児の食育、口腔衛生、習癖改善などの指導、そして歯科医師による虫歯や歯周病の治療が完了した患者様に対する、その後の予防処置なども行っております。また、高齢者や要介護の方への訪問口腔衛生指導も積極的に行っております。さらに最近では歯をより綺麗にしたいと願う患者様からの要望に対して、ホワイトニングやクリーニングなども行っております。近年、虫歯が激減し、食後3回のブラッシングが当たり前になった現在、今までの歯科医師の業務である虫歯や歯周病の治療処置に加えて、口腔衛生指導や予防処置は必要不可欠な存在になって参りました。一昔前までは歯科医師がすべての処置を一人で行う診療形態が

当たり前でしたが、最近では、患者様の一口腔を一単位として総括的な治療計画を立案し、歯科医師、歯科衛生士そして歯科技工士が協力・提携して行う歯科のチーム医療こそが理想的な口腔ケア、口腔保健の実現に貢献できるものと確信しております。皆様におかれましては歯科医療関係者によるチーム歯科医療に是非ご理解を頂き、歯科医師のみならず歯科衛生士にもご自分のお口の悩みについて気軽に相談されてはいかがでしょうか。



歯科衛生士



カウンセリング風景

## 美容歯科 紹介

みなさんは、美容歯科というどのようなイメージをもちますか？昭和大学歯科病院美容歯科は国内の大学で初めて「美容歯科」を標榜した診療室です。

今やテレビや雑誌を見ると芸能人はもちろん、一般の方にまで白い歯は浸透しております。そこで「歯を白くしてみたい」という方、興味のある方は沢山いらっしゃると思いますが、実際に「ホワイトニング」や「セラミック治療」などは一般の人には手の届かない治療だと考えていらっしゃる方がおります。この美容歯科では、きちんとカウンセリングを行い、治療をはじめますので患者さまのニーズに沿って診療を行っていきます。特にお急ぎの方にはPMT C(専門家によるクリーニング)やオフィスホワイトニング、または歯のマニキュアを使って歯を白くすることも可能です。女性だけでなく、男性の方でも歯を白くすることは可能ですので、お気軽にお尋ねください。

美容歯科は4階の奥まったところがございます。個室での診療となっており、患者さまとコミュニケーションを行いながらじっくりと診療を行っていきます。カウンセリングだけでも可能ですので、是非いらしてください。

(美容歯科 杉山 匡恵)



外部の講師の先生をお迎えして、勉強会を行っています。



美容歯科スタッフ

ウォーキングブリーチ



術前



術後

オフィスホワイトニング



術前



術後

ホームホワイトニング



術前



術後

## 骨粗鬆症のお薬をおのみの方々へ —健口フェスティバルへのお誘い—

総合歯科 科長 佐野 晴男

骨粗鬆症予防のお薬(ビスフォスフォネート剤、以下BP剤と略します)をおのみの方々の中に、抜歯を受けた後、顎の骨が膿んでしまう病気(骨髄炎)にかかる例が、報告されるようになってきました。抜歯でも、歯周病でも起こります。一旦骨髄炎にかかるとなかなか治りません。歯科医の間で大きな問題となっています。

骨はいつも変わらずにあるのではなく、身体の他の組織と同じく、常に新陳代謝を繰り返して新しいものに置き換わっています。中年にさしかかると、この新陳代謝のバランスが衰えはじめ、骨密度が薄くなりスカスカの状態になるのが骨粗鬆症です。女性に多いといわれています。BP剤は骨の新陳代謝を抑えて、骨を硬くします。非常によい薬で、整形外科の先生にとっては骨粗鬆症に対する強力な武器です。歯科以外の領域では、このお薬で特に問題になることはありません。歯医者さんの守備範囲である顎の骨だけが非常にやっかいことになっているのです。

骨は皮膚や肉に包まれていて、空気やバイ菌にさらされたりすることは滅多にありませんが、顎の骨だけは違います。抜歯を受ければ、抜いた穴は唾液や食物、空気にさらされます。また、歯周病(歯槽膿漏)にかかった歯ぐきは写真にお示すように赤く腫れており、歯を支えている歯ぐきの真下の骨もバイ菌に接していることとなります。整形外科の先生は歯科のことをよくご存じないので「抜歯をしたって、口の中を清潔に保っていればよいではないか。」と気楽に言ってくれます。

口の中を清潔に保つのが非常に難しいことを整形外科の先生はもとより皆さんに知ってほしいのです。歯医者さんで正しい歯磨き法を習わず、我流で歯磨きをしている方のほとんどは、程度の差こそあれ写真のように歯の周りは汚く、腫れています。特に中年になり、骨粗鬆症適齢期にさしかかった方々のお口の中は、惨憺たる状態の方が少なくありません。磨きにくい奥歯周囲は特に汚れが目立ちます。骨粗鬆症適齢期の方は抜歯、入れ歯、歯周病適

齢期でもあるのです。

昭和大学歯科病院では、地域の皆様向けに健口フェスティバルを毎年開催し、ご好評を頂いて参りました。今年は7月9日午後1時から、放射線科の教授の岡野友宏病院長が「どうして放射線被曝が危険なのか？」とタイムリーなお話を、続いて副院長の私が「歯無しにならない歯無し—生おしく噛むために、よく噛める入れ歯のお話も—」をお話します。歯医者さんで聞くとかかなりなお金が必要です。BP剤をおのみの方、必聴の内容です。以下に内容の一部を列挙します。

- ・虫歯はどうしてできる？
- ・歯槽膿漏ってどんな病気？
- ・どんな歯ブラシ、どんな歯磨き粉がいいの？
- ・歯ブラシの寿命は？
- ・何本か歯を抜いたが噛めるのでそのままにしていいのかな？
- ・電動歯ブラシは使っていいの？
- ・治したのに、また虫歯になった、どうして？
- ・上の入れ歯と下の入れ歯、どっちが作るの難しい？
- ・保険の治療と私費治療との違いは？
- ・入れ歯の固定剤は使っていいの？
- ・入れ歯の寿命は？
- ・入れ歯の磨き方・手入れ法は？
- ・インプラントって本当にいいの？

以上の一つでも分からないものがあれば是非ともお聞き下さい。当日会場でお会いできるのを楽しみにしています。



歯と歯ぐきに歯垢がびっしり付いています。  
歯垢は便と同じくらいバイ菌を含んでいて、当然猛烈な臭いを発しますし、歯ぐきもただれます。

# けんこう 健口フェスティバル



## 公開講座 (要予約)

問い合わせ 03-3787-1151 (内200)

午後1:00~2:45

- ①「どうして放射線被曝が危険なのか？」
- ②「歯無しにならない話」
- ③「歯みがきの仕方と健口体操」

6F臨床講堂にて



## 院内コンサート

午後3:00~4:00

品川少年少女合唱団  
昭和大学管弦楽団

1Fロビーにて



## 技工体験

午後1:30~2:30

(随時受入)

3F 技工室にて

(入れ歯を作っている場所)



平成23年7月9日(土)午後1時から  
昭和大学歯科病院

〒145-8515

東京都大田区北千束2-1-1

## 編集後記

日本の夏の風物詩、蒸し暑い季節の到来です。節電が叫ばれる中、熱中症にくれぐれも注意しましょう。十分な水を飲むことは熱中症の予防に有効です。ところで最近うまく水が飲めない、ムセルなどの症状がある方はどうぞ口腔リハビリテーション科にご相談下さい。

さて、今年の健口フェスティバルですが、公開講座の講師は病院長岡野先生、副病院長佐野先生、カリスマ衛生士の松原さん、司会は副病院長井上先生とフェスティバル史上、最高の豪華キャストが揃いました。予約制ですのでどうぞお早めにお問い合わせ下さい。(3787-1151内線200)。 (K.T.)